

広報
TAGAWA

たがわ

見えなくても
みんなの声は
心に届く

11月1日、田川小学校でブラインドサッカーの体験学習が行われ、同校の4年生32人が参加しました。

この体験学習は、視覚障害者への理解を深めることを目的に、市教育委員会が主催して市内全小学校で実施しています。この日は、ブラインドサッカーチーム「ラッキーストライカーズ福岡」の森良太選手と九州ブラインドサッカー協会理事の堀田幸作さんなどが同校を訪問し、競技を通して健常者も障害者も一緒に協力し合うことの大切さを伝えました。子どもたちは2チームに分かれてゲームに挑戦。各チームの代表選手が、ボールが鳴らす鈴の音や仲間の声を頼りに1対1でボールを追いかけ、チーム全員で守るゴールにシュートを放ちました。森選手から感想を聞かれた子どもたちは「ボールの場所を探すことが難しかった」「視覚に障害がある人には声をかけることが大切」などと笑顔で答えました。

12月4日～10日は「人権週間」です



12/1

平成29年12月1日
(2017年)

NO. 1468